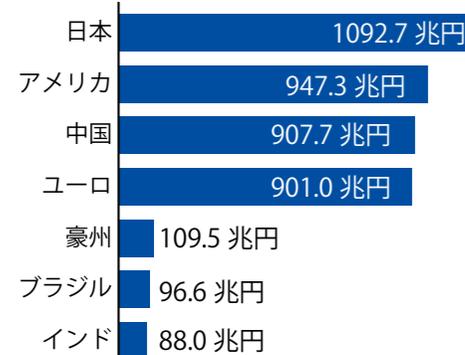


世界のお金の量

通貨総量 (マネーストック)	
日本	1,093 兆円
アメリカ	12,094 10億ドル
ユーロ	8,917 10億ユーロ
中国	72,585 10億元
豪州	1,369,411 100万豪州ドル
ブラジル	2,520,856 100万リアル
インド	59,305 10億ルピー

円で換算すると
(2012/10/15レート)



世界中にお金の種類はどれだけあるの? 日常生活でお金といえば、私達にとっては「円」です。意識せずに使っていますが、お札・硬貨、と日本のお金だけでも9種類(硬貨6種類、お札4種類)あります。では、世界に目を向けてみるとどれくらいのお金があるのでしょうか? 平成24年1月1日現在、日本が承認している国と日本を合計すると195ヶ国(総務省統計局)あります。ユーロのように国が違っていても利用する通貨は同じという国もあります

世界の通貨の種類はどれくらい? 各国のお金の流通量はどれくらいでしょうか。昨今の世界経済の状況や、新興国の台頭でかつての勢力配置が大きく変わってきています。世界のお金の流通量は、アメリカ、ユーロ、日本円で世界の70%とも80%とも言われていました。しかし、経済状況の停滞や、巨大中国の躍進などで、バランスも大

きく変わりつつあります。円高(外貨安)の影響もありますが、グラフのように円換算の計算をしてみますと、円が中国のお金の量も勢いよく伸びていることがわかります。中国の人口が約13億5千万人、インドが12億4千万人と、国ごと人口のランキングトップ1と2ですが、お金の流通量には大きな差があります。マネー運用で親しんでいるかもしれない「オーストラリア」や「ブラジル」も、実は通貨量はあまり多くないのですね。

海外旅行をするときに「両替」をしますね。それは、食事したり買い物したり現地消費するためです。外貨の運用も同様に、自分の円を両替して外貨や外国の債券などに投資します。両替は、そのときの「相場」によって全く異なります。相場が変化する理由は、さまざまな要因があり、特に



円が高いときに外貨にして、円が安くなったときに円に戻すとおトク。でも、逆の場合は損することになります。仕組みは単純ですが、この判断は簡単ではありません



運用にも活かしたい? 身近になった外国のお金

読者の皆さんの中にも、外貨預金や投資信託で直接もしくは間接的に「外貨」をお持ちの方がおられるかもしれません。昔と違い、行ったこともない国のお金でも自分で持つことができる世の中になりました。しかし、昨今の世界的な金融問題は、今一度外国為替についてよく知っておくよう警鐘を鳴らしているようにも感じます。

※本原稿は2012年10月時点のものであり、市場の変化にご留意ください

お金は、そのお金が流通しているところでしか価値をなしません。たとえ100万ドルを持っていても、日本のスーパーでは使えません。日本で暮らす限り『円』にする必要があります。外貨の運用商品を持っている場合、円に交換したときに、はじめてお金としての価値ができるのですね



昨今の世界的な環境からプロでも予測がつかないくらいです。運用に活かすことは、実はとても難しいことなのです。